

学校通信~風の人より~

上牧町立上牧第二中学校
校長 西浦 寛

師走も後半へ、1年の締めくくりです。

すでに師走（しわす）も後半となりました。年末はみんなが忙しくなり、『師も走り出すから師走。』ということなのですが、「師」とは僧侶（お坊さん）のことです。普段は落ち着いて慌てることのないお坊さんさえ忙しくて走る。そういう慌ただしさを表している言葉です。

今年の2学期は、体育大会や文化鑑賞会・音楽祭、台湾交流等、多くの行事を制限なく開催することができました。生徒のみなさんが油断することなく感染症予防対策を行った成果だと思います。特に今はインフルエンザが猛威を振るっており、今後も影響が続きそうです。冬休みも対策を継続しましょう。

2学期は8月末からの長い期間となりました。しっかりと振り返り、新しい年の準備を始めましょう。3年生のみなさんは大切な時期を迎えます。健康に留意し、一日一日を大切に前向きに取り組みましょう。

冬休みは短期間ですが、イベントがたくさんあります。楽しく過ごすためにも体調管理に努めましょう。また、年末には掃除や片付けをして、気持ちよく新年を迎えるための準備をしましょう。

生徒会役員改選 12月7日(木)

生徒会立会演説会と投票が行われ、新しい生徒会役員が決まりました。学校の主役は生徒の皆さんです。行事や学校生活など様々な面で生徒会が盛り上がり、よりよい学校にしていきたいと思います。

生徒会長：菅谷湧真(2-2) 副会長：加藤 清(1-2)

書記：藤森詠子(1-2) 会計：湯原聡真(1-2)

執行部役員：猪川稜太(2-2) 川下 薫(2-2)

新役員は以上のメンバーです。期待しています。



台湾桃園市立桃園國民中學との国際交流 12月13日(水)~15日(金)

12月13日(水)に台湾桃園市立桃園國民中學の生徒28名と教員等が上牧町を訪問し、上牧中学校での入町式、14日(木)には上牧中学校と本校での交流会、15日(金)には本校での退町式が行われました。

この国際交流は、5年前の桃園國民中學の本校来校をきっかけに、上牧町の二つの中学校と桃園國民中學とで姉妹校提携が結ばれ、互いに訪問、交流しあう予定で始まりました。しかし新型コロナウイルスの影響で、昨年度まではリモート交流のみになっていました。今年度、4年ぶりに来町いただき、学校訪問だけでなく、町内13家庭でのホームステイも実現しました。

本校での交流会では、代表の生徒同士が互いに挨拶や文化の紹介について日頃の学習を生かして英語で発表しあいました。また、台湾では日本の漫画やアニメがとても人気があることや吹奏楽部の演奏にも興味津々であったことから、同じ年代の子どもたちが言語を超えて親しく交流している場面も見られ、すばらしいと思いました。今後も今回のような出会いを生かし、生徒のみなさんに国際社会で活躍できる人になってもらいたいと願っています。



新年(2024、令和6年、辰年)をどんな年に?

長い2学期の終了と同時に令和5年も暮れようとしています。よく年始に「今年目標は…」と言ったり、聞いたりしますが、この『目標』の設定がなかなか難しいですね。4月の学校通信にも書きましたが、『目標』を『将来の自分』に置き換えてみましょう。『将来どうなりたいのか。』から『今、何をすべきか。』を考えるとということです。すぐに将来の自分を見つけることは難しいかもしれませんが、今年の年末年始には5年後10年後の自分について考える時間をもってください。

保護者のみなさまへ

猛暑の8月末から始まった2学期が終了しました。今年度はほぼ制限のない状態で体育大会をはじめとする学校行事を開催することができました。日頃から本校の学校運営に対するご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。いつも子どもたちに寄り添い応援して下さる保護者のみなさまに感謝いたします。今後とも子どもたちのよりよい成長のサポーターでありますよう、学校と保護者・地域との連携を深めていきたいと思っております。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

明日、12月23日(土)から冬休みが始まります。現在もインフルエンザが猛威を振っている状況ですので、感染症予防対策を継続しながら年末年始に家族での充実した時間を過ごしていただきたいと思います。休みに入り生活リズムを崩さないよう、ご家庭での子どもたちへのご指導もよろしくお願い申し上げます。